



問 防災、減災のソフト面の取組みについて

答 自分の命は自分で守る、地域は地域で守っていく、そういう意識を育てていく

問 災害対策本部は。

生活安全課長 役場庁舎内の災害対策室。役場庁舎が被災した場合は、優先順に五霞町中央公民館、五霞町B & G海洋センター、五霞町保健センターに設置。代替施設とも耐震基準を満たしているが、停電時の非常用発電設備は無い。

住民基本台帳などの基幹業務を自治体クラウドに移行している。災害時にも業務の継続は可能。

問 防災マップは。

生活安全課長 避難経路は指定してない、過去の道路通行不能箇所を踏まえ検討したい。指定避難所は18カ所。

問 自主防災組織の現状は。

生活安全課長 15行政区全てに組織化され、活動カバー率100%。行政組合の組合数・加入率とも減少傾向にあり自主防災会の構築が課題。

問 自主防災組織の構築、育成は。

町長 いかに地域のきずなを深めていくか、これは普段の生活だけでなく、災害が発生した時に、いかに必要かと改めて知らされた。自分の命は自分で守る、また地域は地域で守っていく、そういう意識に変えていただく。これも行政の務めと思っている。

長期避難場所と収容可能人員

施設名	居室面積 (㎡)	収容可能人員(人)	
		一時避難	長期避難
中学校	7,561	4,590	2,280
	4,850	2,950	1,470
西小学校	3,884	2,350	1,180
	1,561	950	470
東小学校	4,072	2,470	1,230
	1,839	1,110	560
中央公民館	2,828	1,720	850
	1,348	810	410
合計	1階以上	18,345	11,130
	2階以上	9,598	5,820

行政組合数と加入率

行政組合	平成13年度	平成28年度
組合数	144	131
加入率	83.8%	61.5%

問 防災・減災のハード面の取組みについて

答 橋梁は耐震診断し緊急性のあるところから、町道は5号線から順次進めていく

問 町道や橋梁は。

都市建設課長 町道5号線は今年度着手予定、6号線は進行中、7号線は基本設計中。町管理の橋梁は緊急性の高いものから、耐震診断を実施し耐震補強を予定している。

問 県道幸手・境線の歩道整備は。

都市建設課長 現道の県道幸手・境線における上船渡橋の歩道計画は無い。バイパス完成後

の交通量を見て関係機関へ要望していく。

問 県道幸手・境線バイパスは。

都市建設課長 (仮称)新上船渡橋橋梁は平成31年度末に完成予定。下吉羽幸手線までの開通を橋梁と合わせるよう要望していく。

主要橋梁の架設年度

橋 梁	架設年度	管 理
霞橋	昭和50年	茨城県
太平橋	昭和62年	久喜市
船渡橋	平成3年	五霞町
行幸水門橋	昭和61年	埼玉県
上船渡橋	昭和36年	埼玉県
川原橋	昭和49年	五霞町



上船渡橋夕刻のラッシュ時間帯